

公益社団法人私立大学情報教育協会  
平成24年度第3回大学職員情報化研究講習会運営委員会 議事内容

- I. 日 時：平成24年7月27日(金) 午後1時30分から午後3時30分まで  
II. 場 所：アルカディア市ヶ谷(私学会館)  
III. 参加者：岡本担当理事、木村委員長、斉藤副委員長、廣野副委員長、志田委員、青山委員、小野委員、大竹委員、毛利委員、東川委員、久保田委員、土肥委員、正木委員、川崎委員  
事務局：井端事務局長、森下主幹、野本(記)

IV. 検討事項

1. 前回までの応用コース検討概要

- ・ 前回の委員会では、2日間の開催で8分科会が提案された。特に、ICTの特性トレンドを新たに取り入れて分科会の案が作成された。8分科会については、組み合わせるなどの意見が出された。その後、基礎講習コースの場で検討がされ、6分科会での変更案が提案されたが、議論され、情報提供型での実施が検討され、1日間で2か所での実施の案から場所や参加者見込みの想定から1日で東京開催の案とした。また、基礎講習の発表を取り入れ、基礎と応用をつなげる試みが検討された。

2. 応用コースの取り組み変更案について

- ・ 変更のポイントは、一つは、情報提供型として、テーマを緊急性・重要性の高いもので参加しやすい環境をつくる。二つは、基礎講習コースでの成果を応用コースに生かし、基礎講習コース参加者の満足度を高めるとともに応用コース参加者にとって大学改善・大学改革に資する情報を提供することとした。
- ・ 日程会場の候補として、12月10日で早稲田大学の会場は確保が可能である。
- ・ 10時から基調講演、11時から事例報告、14時から基礎講習成果報告、15時30分からグループ討議と時間配分をした。

3. 委員からの意見について

- ・ 基礎講習コースでは、見える化シートに沿って進め、ステップを踏んで討議ができた。発表ではグループ差があったが希望したキーワードは入っており、自らの問題として上げたグループもあった。
- ・ コース変更が大きく、大きな分岐点となり、次のステップの段階として捉えている。
- ・ 基礎では共通テーマに絞って、テーマは難しかったが、解説しながら進めたので、意図したものの理解は進められたと考える。
- ・ 基礎では合宿形式での実施が得難い経験になったと思われ、基礎を応用に活かす場合は、応用1日では過去の流れからは不安が感じられる。
- ・ 基礎からの成果報告は良いが、応用参加者の受け止めかたはどうか課題ではないか。
- ・ 1泊で情報提供までの方向は理解しているが、質保証や学修時間の確保について、現場でその問題を共有することに対しては、運営委員として対応できるか疑問。
- ・ 成果物を出すには、ディスカッションは不足ではないか。
- ・ 情報提供型は良いが、討議する時間が不足ではないか、テーマの内容で導けるかが不安。
- ・ 参加者がコミュニケーションを取りたい場合にその時間が取られていない。参加者が持っている課題がテーマになっていることが良かったのではないか。
- ・ 私情協らしさを出して、かつ、参加者の負担を減らすことが必要。事例報告では、参加者が持って帰れるものをつくれぬか。事例報告と基礎報告な内容がつながる流れが必要ではないか。
- ・ 基礎、応用で連携は年間の共通テーマとして、基礎と応用の役割分担としてトレンド把握と課題解決など決める必要があるのではないか。
- ・ 過去の応用コースでは、問題意識の共有などができ、それが私情協のスタイルとして認識されていたのではないか。変更案では、問題意識を出し合う場ではなくなる。
- ・ 職員を成長させるための意識で、委員としてボランティアをしている。テーマの内容・範囲によっては対応できない。

- ・ 実践応用コースとした場合、実践の名前が合わないと思われる。
- ・ 討議について、基礎の内容は参加していないと共有できないのではないかと。むずかしいと思われる。テーマを絞り込んでしまうのはどうか、大学では課題から委員会を設立する。
- ・ 事例報告からの流れを3つ程度の分科会に最初から分けてはどうか。
- ・ 大学の管理運営、財務指標、地域との連携、情報の視点から大学の立ち直りに寄与できるポイントが必要ではないか。
- ・ 大学から研修にだす目的には、コネクションを持って帰って欲しい期待がある。1日だと一般専門家のセミナーと差別化できるのか。
- ・ 情報は経営的な側面などあり、テーマを狭くしてしまっているのではないかと、テーマはコスト削減などが狙えるのではないかと。
- ・ 会を通じて、長く付き合える人を集めることも重要ではないかと。
- ・ テーマは、基礎では、情報公表のための職員の役割については深められたと思う。質転換に関してはまた不足で、取り組みの仕方が違うと思われる。
- ・ 申し込みを考えているひとは、応用については何の分科会があるかについて考えているので、基礎と応用の連動については基礎に参加したことが無い人にとってはどうか。
- ・ 連盟はキャリア開発、協会は職種、私情協の特長は情報キーワードであるが、今問題になっていることの、いろいろな視点から取り組む切り口から課題解決を考えることだった。
- ・ 事例報告をテーマ別の問題提起にして、その後、3時間のグループ討議ではどうか。
- ・ 10時開始なら、9時開始にしても、大学は10時開始なら前泊可能になる場合があるので検討してはどうか。
- ・ 事例報告からグループに分けてはどうか。事例報告の情報提供からグループ討議につなげる。参加しやすさインパクトを求めたい、入学者確保、入口・中身・出口3パターンで情報を使って、どういう経営管理や工夫への視点・気づきが提示できないか。
- ・ スケジュールは、9時から基調講演、10時から情報提供、11時からグループ事例報告・情報提供、13時から17時グループ討議にしてはどうか。
- ・ 情報戦略を活用したポイントとしてテーマ3つぐらいで、問題提起のキーワードを考えたい。
  - 委員で案を出し合い検討することにした。

#### 4. 今後の対応

- ・ 午前11時から午後にかけて、3グループに分かれ、事例報告・情報提供からグループ討議の流れとする案に、各グループ（分科会）でのテーマについてそれぞれ1つ以上の案を各委員で考えることにした。情報戦略を活用したポイント、問題提起のキーワードとして「テーマ」と「その内容」出し合い検討することにした。特に、参加してみようか、インパクトのあるものを希望し、入学者の確保など大学として興味をそそるようなテーマにする必要がある。